Beat-Sonic®

NO:000004

TYPE3 取扱説明書

この度はFM/AMドルフィンアンテナをお買い上げいただき、ありがとうございます。
取付ける前にこの取扱説明書をよく読み正しくお使いください。

■ 製品の特徴

•ポールアンテナを洗練されたドルフィンアンテナに交換
•立体駐車場や洗車機でアンテナを外したり、倒す必要がない
•豊富なカラーバリエーション
•アンテナボス部にケーブルを接続し、かぶせて取付け

■ 安全のために

警告

下記の警告事項を守らないと、死亡や重症に至る重大な事故を起こす恐れがあります。
■本製品の固定、付属品・ケーブルの接続は確実に行ってください。固定や接続が不十分な場合、本製品が正常に機能しない、もしくは剥がれたり落下の原因となります。
■ドルフィンアンテナ貼付面がソーラーパネルやサンルーフ・レール・溝・段差などに掛かる場合は取付けないでください。アンテナの接着力が低下します。

注意

下記の注意事項を守らないと、怪我を負ったり、製品・車両が損傷する恐れがあります。
■本製品の取付け・使用・作業依頼は、お客様自らの判断・責任の上で行ってください。弊社では本製品の取付け・使用による、使用者・第三者・車両への損害・事故・損傷・怪我などの保証は一切行いません。
■本製品を取付ける際、ボディが凹む場合がありますので、十分に注意して作業を行ってください。
■本製品の分解や改造をしないでください。保証対象外となります。
■違法改造車、整備不良車等への取付け、保証などのサポートは一切行っておりません。
■ケーブルを引っ張るとケーブルが断線し、故障の原因となります。

道路運送車両の保安基準について

・突出の制限
道路運送車両の保安基準 第十八条 別添22 3.4 に電波送受信用アンテナの表面には、曲率半径が2.5mm未満である突起を有してはならない。となっています。弊社FM/AMドルフィンアンテナは、表面突起が基準に適合するように設計されています。
・突出量の制限
道路運送車両の保安基準 第十八条 別添22 4.1.4.2 に台座を含むアンテナの突出量が車体表面から70mmを超えないこと。となっています。弊社FM/AMドルフィンアンテナは、突出量が基準に適合するように設計されています。
・取付位置の制限
純正アンテナが、運転者の位置(Rポイント)より前方にある場合は、取付けできません。詳しくは、道路運送車両の保安基準 第十八条 別添22をご確認ください。
・構造装置の軽微な変更時の取扱いについて
指定部品のため、構造変更に係わる諸手続き(自動車検査証の記載事項の変更手続き)は不要となります。

通信型のアンテナ交換について

①ホンダインターナビ(リンクアップフリー)は、ドルフィンアンテナに交換可能です。
②トヨタディーラーオプションのG-BOOKナビは、ドルフィンアンテナに交換可能です。
③トヨタメーカー装着のG-BOOKナビは、ドルフィンアンテナに交換可能です。 ※ただし④は除く。
④セルシオ、クラウンなどポールアンテナが、電波を送信するメーカー装着ナビの場合は、電波法第4条に触れる可能性がありますので、ドルフィンアンテナに交換しないでください。
※通信モジュール(DCM)を撤去、使用不能にすれば、ドルフィンアンテナに交換可能です。
⑤日産カーウイングスナビゲーションシステムは、ドルフィンアンテナに交換可能です。
⑥日産リーフ　カーウイングス(CARWINGS for EV/NZSP)は、ドルフィンアンテナに交換可能です。
⑦スバルメーカー装着のG-BOOKナビは、ドルフィンアンテナに交換可能です。
⑧MAZDA G-Book ALPHAは、ドルフィンアンテナに交換可能です。

(株)ビートソニック〒470-0112 愛知県日進市藤枝町こうしん472-5
TEL 0561-75-1655 / 0561-74-5592　FAX 0561-74-5595
URL : http://www.beatsonic.co.jp

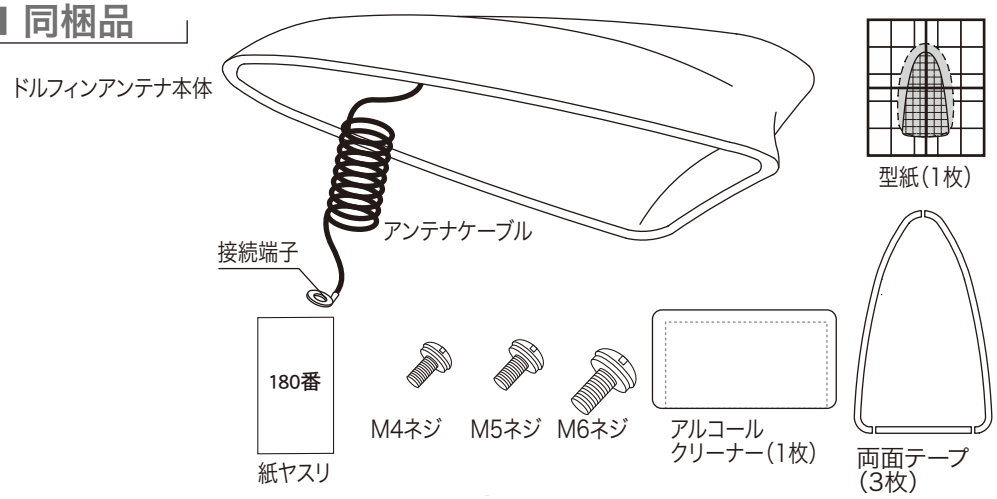
■ 仕様

受信周波数	FM(76.0MHz～90.0MHz) AM(530KHz～1,710KHz)
アンテナ形式	ヘリカルアンテナ型
カップリング方式	アンテナボス部に接続
外形寸法	204(D)×109(W)×70(H)
固定方式	面接着方式(両面テープ止め)
装着可能ポールネジ	M4ネジ、M5ネジ、M6ネジ

※受信感度は純正アンテナとほぼ同等ですが、電波状況により受信感度が低下します。

・本製品はブースターアンプ内蔵型の純正ポールアンテナに被せて使用するアンテナです。
ブースターアンプ非内蔵の純正ポールアンテナに被せて使用すると、ラジオの受信感度が著しく低下することがあります。受信感度が悪い際は、市販のラジオ用ブースターアンプ(別売)を併用することで受信感度が向上することがあります。

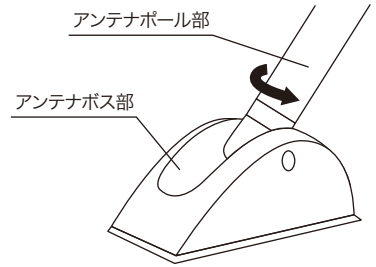
■ 同梱品



■ ドルフィンアンテナの取付方法

①純正ポールアンテナを外す

ほとんどの車のポールアンテナはネジを外す要領でポールを左へ回すとボス部を残して簡単に外れます。
注意：ポールアンテナを外した際、アンテナボス部のネジ穴にサビやゴミが付着している場合はよく清掃してください。

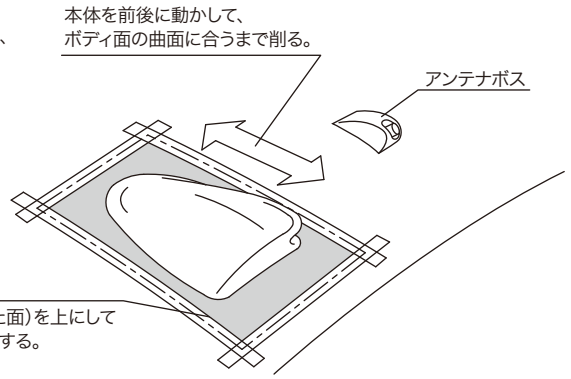


②屋根のカーブの確認 アンテナボス部に本体をかぶせ、カーブを確認します。

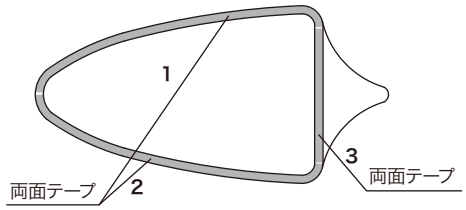
屋根のカーブに合わない場合

取付位置の横で、下図のように紙ヤスリをテープで固定し、ボディ面の曲面に本体の底面が合うまで削ります。

注意：
1.加工時、アンテナケーブルを傷つけないように粘着テープ等でケース内部に固定してください。
2.加工時、ボディ面への傷付き防止のため、紙ヤスリとボディの間をテーピングしてください。

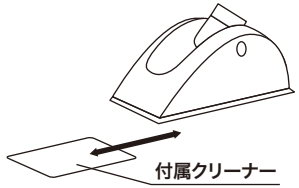


③本体に付属の両面テープ(3枚)を貼付ける

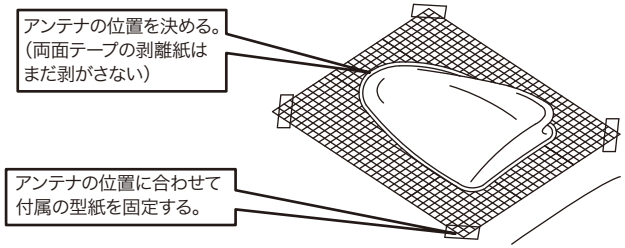


④屋根の汚れをふき取る

アンテナ貼付位置の汚れを付属のアルコールクリーナーでよく拭き取ってください。※汚れの酷い場合は、一度洗車をしてから付属のアルコールクリーナーで脱脂をしてください。
ボディコートが処理されている車両は、両面テープが十分に接着しない場合があります。
必ず、接着面以外(ドルフィンアンテナの外側)をマスキングし、接着面のボディコートのみを市販のコンパウンド(細目)等で除去してから接着してください。



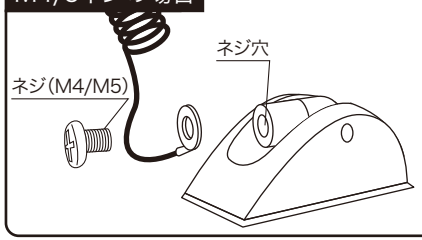
⑤位置決めをする



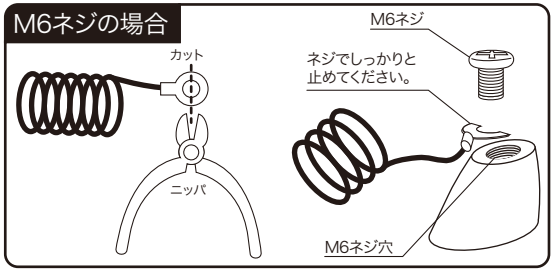
④ボス部にドルフィンアンテナの接続端子を取付ける

付属のネジでボス部のネジ穴に接続端子を接続します。

M4/5ネジの場合



M6ネジの場合

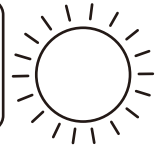


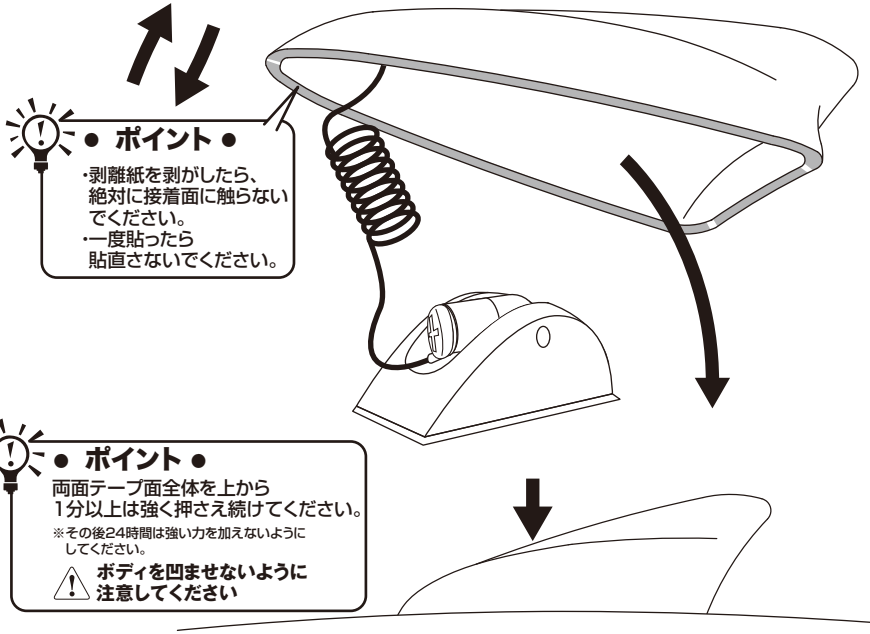
注: カバーを接着する前にラジオを受信できるか電気的な接続を確認してください。

⑦ドルフィンアンテナを貼付ける

両面テープの剥離紙をはがして屋根に置き、押さえつけてください。

● ポイント ●
作業は暖かい日、または
両面テープをドライヤー等で
人肌程度(30～40℃)まで
温めてから貼付けてください。





※両面テープに直接触れたり、貼直した場合
テープの接着力が著しく低下し、接着面が剥がれる恐れがあります。
必ず別売の両面テープと交換してください。